



2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

コード番号 3088 URL https://www.matsukiyococokara.com/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 清雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グループ管理統括財務戦略室長 (氏名) 西田 浩 (TEL) 03-6845-0005

半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月3日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	525,729	3.5	37,662	0.3	39,618	△1.1	24,958	△3.4
2024年3月期中間期	507,766	9.2	37,554	32.6	40,068	30.8	25,838	39.6

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 25,133百万円(△10.1%) 2024年3月期中間期 27,959百万円(33.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	60.38	60.36
2024年3月期中間期	61.79	61.77

当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	705,623	501,054	70.9	1,240.14
2024年3月期	724,747	515,176	71.0	1,233.84

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 500,476百万円 2024年3月期 514,686百万円

当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	50.00	—	20.00	—
2025年3月期	—	21.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期第2四半期末につきましては、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。年間の配当につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、表示しておりません。なお、株式分割前ベースでの2025年3月期(予想)の第2四半期末の配当金は1株当たり63円00銭となります。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,050,000	2.7	77,500	2.4	81,500	1.2	52,500	0.3	127.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	415,675,630株	2024年3月期	428,900,130株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	12,109,541株	2024年3月期	11,759,689株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	413,381,337株	2024年3月期中間期	418,168,218株

1) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式(2025年3月期中間期397,578株、2024年3月期421,378株)が含まれております。また、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の5ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(中間連結貸借対照表関係)	11
(中間連結損益計算書関係)	11
(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)	12
(セグメント情報)	12
(収益認識関係)	14
(重要な後発事象)	14
3. 補足情報	15
売上及び仕入の状況	15

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日~2024年9月30日)におけるわが国経済は、賃上げや各種政策の効果もあり、雇用・所得環境が改善する中、景気が緩やかに回復しておりますが、物価上昇による消費の減速懸念や金融資本市場の変動等による下振れリスクにより、先行き不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましても、業種・業態を越えた競合企業の新規出店、商勢圏拡大に向けた新たなエリアへの侵攻、M&Aによる規模拡大、同質化する異業種との競争、それらが要因となる狭小商圏化など、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が継続しております。

このような環境の中、当社グループの重点戦略は国内とグローバルに分け設定し、国内戦略として「お客様のライフステージに応じた価値提供」を戦略テーマに3つの重点戦略、①利便性の追求-お客様との繋がりの深化、②独自性の追求-体験やサービス提供の新化、③専門性の追求-トータルケアの進化と、グローバル戦略として「アジア市場での更なるプレゼンス向上」を戦略テーマに④グローバル事業の更なる拡大を重点戦略として設定し取組んでおり、特に経営統合後三年目となる当期においては、長期的な業績向上に向け、人的資本やシステム等への成長投資を進めております。

P B (プライベートブランド) 商品につきましては、当社グループ初のメンズスキンケア・ヘアケアプライベートブランドとなる「KNOWLEDGE (ナレッジ)」の販売を開始しました。既存のP B商品では、「nake (ネイク)」や「RECIPEO (レシピオ)」から新商品の追加展開を順次進めております。また、当社グループの顧客接点を活用し、店舗とアプリ・オンラインストアを融合する施策の推進を通して、お客様の利便性の向上を図っております。なお、経営統合によるシナジー実現に向けた取組みにつきましても、引き続き計画通り順調に進捗いたしました。

2024年9月末現在における当社グループの顧客接点数は、1億5,293万となり、国内店舗数は3,488店舗(うち調剤薬局数1,000店舗、健康サポート薬局数134店舗)となりました。今後も4つの重点戦略を実行することで収益改善を図ってまいります。

これらの結果、当中間連結会計期間における主な経営成績は次のとおりであります。

	前中間連結 会計期間 (百万円)	当中間連結 会計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	507,766	525,729	17,962	3.5
営業利益	37,554	37,662	108	0.3
経常利益	40,068	39,618	△450	△1.1
親会社株主に帰属する中間純利益	25,838	24,958	△879	△3.4

セグメントの業績概況について

<マツモトキヨシグループ事業>

マツモトキヨシグループ事業では、4つの重点戦略に対して、以下の取組みを実行いたしました。

①利便性の追求-お客様との繋がり深化として、社会全体のデジタル化が進み、お客様のライフスタイルが変化しつつある中で、一人ひとりのお客様と深く繋がっていくことでニーズを的確に捉え最も身近な存在となることが必要と考えております。そのため、デジタルと店舗網を活用した届ける仕組みづくり、様々な買い物スタイルの提供など、利便性を追求していくことで、お客様により深く寄り添う企業を目指しております。

②独自性の追求-体験やサービス提供の新化として、激しい競争環境の中で、お客様との様々な接点から蓄積されたデータと高いマーケティング分析力を活かし、お客様の価値観に基づいた商品・サービスや店舗モデルの開発、メーカー様向け広告配信事業の展開など、マツモトキヨシグループならではの独自性を追求していくことで、お客様に選ばれる企業を目指しております。

③専門性の追求-トータルケアの進化として、少子高齢化が進み、健康長寿社会の実現を目指すわが国においては、様々なお客様のライフステージに応じた質の高いサービスを提供することで、地域社会により大きな安心と喜びを提供していくことが求められていると考えております。そのため、セルフメディケーションの推進やオンラインを活用した服薬指導・接客などに加え、心と身体の両面でのビューティーケアなど、専門性を追求していくことで、地域包括ケアシステムを支え、すべての人がいつまでも美しく、健康で心豊かな生活を送れるよう取組んでおります。

④グローバル事業の更なる拡大では、アジアを中心とした新たな進出国の開拓や海外店舗展開、越境EC事業の拡大を図るため、海外SNSの活用やグローバル会員獲得によるアプローチ強化、グローバルで活躍する人材の開発、海外で支持される商品の開発などに積極的に取り組むことで、美と健康への意識が高まっているアジア地域での事業規模拡大とプレゼンス向上を目指しております。

PB商品につきましては、「matsukiyo」から人気保湿ケア商品「ヒルメナイドシリーズ」の新たなラインナップとして「ヒルメナイドスプレー」の展開をスタートしたほか、「matsukiyoLAB」からアスリートライン及びサステナブルロカボライン、「ザ・レチノタイム」等よりそれぞれ新商品を発売いたしました。

2024年9月末現在におけるマツモトキヨシグループの国内店舗数は1,925店舗(うち調剤薬局数456店舗、健康サポート薬局数36店舗)となり、薬局経営支援サービスである調剤サポートプログラムの加盟店舗数は235店舗まで拡大いたしました。また、海外店舗展開として、グアムに新規出店し、海外店舗数は、タイ王国で28店舗、台湾で23店舗、ベトナム社会主義共和国で10店舗、香港で11店舗、グアムで1店舗の合計73店舗となりました。

マツモトキヨシグループでは、マスクや検査キットなど、新型コロナウイルス関連商品の反動減はあったものの、都市部や繁華街、商業施設内等の人流の拡大や訪日外国人観光客の増加により、化粧品を中心として売上が好調に推移いたしました。

<ココカラファイングループ事業>

ココカラファイングループ事業では、「利便性の追求-お客様との繋がり深化」「独自性の追求-体験やサービス提供の新化」「専門性の追求-トータルケアの進化」という3つの国内重点戦略に対して、マツモトキヨシグループと同様の取組みを実行いたしました。

ココカラファイングループでは、マスクや検査キットなど、新型コロナウイルス関連商品の反動減や売上構成比の高い調剤事業における薬価改定の影響等があったものの、ロイヤルカスタマーの醸成に向けた効率的かつ効果的な販促策の実施により化粧品の売上が伸長し、全体の売上を押し上げました。

2024年9月末現在におけるココカラファイングループの国内店舗数は1,563店舗(うち調剤薬局数544店舗、健康サポート薬局数98店舗)となりました。

〔国内店舗の出店・閉店の状況〕

国内店舗の出店・閉店の状況は次の通りであります。

(単位：店舗)

	2024年3月31日 現在の店舗数	出店	閉店	2024年9月30日 現在の店舗数
マツモトキヨシグループ	1,904	31	10	1,925
ココカラファイングループ	1,560	12	9	1,563
合計	3,464	43	19	3,488

＜管理サポート事業＞

管理サポート事業では、当社グループ会社を取り扱う商品の仕入や当社グループ会社の経営管理・統轄、その間接業務の受託業務、当社グループ会社からの配当金収入及び、外部への商品供給・施工業務・広告宣伝等を行っており、業務活動の範囲も拡大しております。

これらの結果、セグメントの業績は次のとおりであります。

		前中間連結 会計期間 (百万円)	当中間連結 会計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
マツモトキヨシ グループ事業	売上高	312,678	328,085	15,407	4.9
	セグメント利益	24,720	26,208	1,487	6.0
ココカラファイン グループ事業	売上高	193,926	195,836	1,910	1.0
	セグメント利益	11,193	11,281	88	0.8
管理サポート 事業	売上高	332,714	336,387	3,672	1.1
	セグメント利益	29,916	20,221	△9,694	△32.4
調整額	売上高	△331,551	△334,579	△3,027	—
	セグメント利益	△28,276	△20,049	8,226	—
合計	売上高	507,766	525,729	17,962	3.5
	セグメント利益	37,554	37,662	108	0.3

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて191億24百万円減少して7,056億23百万円となりました。これは主に、流動資産その他が103億17百万円、現金及び預金が43億26百万円、売掛金が38億6百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、50億1百万円減少して2,045億69百万円となりました。これは主に、買掛金が20億17百万円増加したものの、流動負債その他が42億40百万円、未払法人税等が25億36百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、141億22百万円減少して5,010億54百万円となりました。これは主に、利益剰余金が166億7百万円増加したものの、資本剰余金が272億24百万円減少、自己株式が36億円増加したことによる純資産の減少があったこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,133億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して43億26百万円の減少となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、450億96百万円(前年同期は301億60百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益394億89百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、96億91百万円(前年同期は127億55百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出54億41百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、397億51百万円(前年同期は88億7百万円の使用)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出309億53百万円や、配当金の支払額83億32百万円によるものであります。

(資本の財源及び資金の流動性)

当社グループの資本の財源及び資金の流動性については、主に営業活動により得られた資金を新規出店に係る設備投資に充当しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	117,720	113,394
売掛金	61,747	57,940
商品	138,573	141,018
貯蔵品	779	1,129
その他	52,002	41,684
貸倒引当金	△24	△23
流動資産合計	370,798	355,143
固定資産		
有形固定資産		
土地	51,350	51,058
その他	62,318	61,690
有形固定資産合計	113,668	112,749
無形固定資産		
のれん	105,737	102,497
その他	27,469	28,057
無形固定資産合計	133,207	130,554
投資その他の資産		
投資有価証券	24,340	25,268
敷金及び保証金	61,198	60,769
その他	21,715	21,295
貸倒引当金	△181	△158
投資その他の資産合計	107,073	107,175
固定資産合計	353,949	350,479
資産合計	724,747	705,623

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,082	108,099
未払法人税等	17,390	14,854
短期借入金	970	1,064
1年内返済予定の長期借入金	18,400	18,400
賞与引当金	5,600	5,973
ポイント引当金	71	106
契約負債	3,331	3,758
資産除去債務	20	16
その他	27,561	23,320
流動負債合計	179,428	175,594
固定負債		
債務保証損失引当金	206	176
株式給付引当金	249	312
役員株式給付引当金	39	39
退職給付に係る負債	396	402
資産除去債務	14,175	14,321
その他	15,074	13,722
固定負債合計	30,142	28,975
負債合計	209,570	204,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,051	22,051
資本剰余金	206,103	178,879
利益剰余金	301,098	317,706
自己株式	△21,351	△24,951
株主資本合計	507,902	493,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,870	6,890
為替換算調整勘定	△86	△99
その他の包括利益累計額合計	6,783	6,790
新株予約権	43	43
非支配株主持分	447	534
純資産合計	515,176	501,054
負債純資産合計	724,747	705,623

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	507,766	525,729
売上原価	333,940	343,372
売上総利益	173,826	182,357
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	10	34
給料及び手当	46,935	49,388
賞与引当金繰入額	5,399	5,927
退職給付費用	1,185	1,122
地代家賃	35,147	36,930
その他	47,593	51,290
販売費及び一般管理費合計	136,272	144,694
営業利益	37,554	37,662
営業外収益		
受取利息	67	72
受取配当金	223	205
固定資産受贈益	256	189
発注処理手数料	1,069	914
情報提供料収入	293	301
その他	652	392
営業外収益合計	2,562	2,075
営業外費用		
支払利息	29	30
投資事業組合運用損	—	50
現金過不足	3	2
その他	16	34
営業外費用合計	48	119
経常利益	40,068	39,618
特別利益		
固定資産売却益	43	249
退職給付制度改定益	※1 685	—
特別利益合計	729	249
特別損失		
固定資産売却損	50	4
固定資産除却損	226	131
投資有価証券売却損	38	—
店舗閉鎖損失	113	75
減損損失	17	114
災害による損失	※2 27	※2 52
特別損失合計	474	378
税金等調整前中間純利益	40,323	39,489
法人税、住民税及び事業税	13,363	14,037
法人税等調整額	989	326
法人税等合計	14,352	14,363
中間純利益	25,971	25,125
非支配株主に帰属する中間純利益	132	167
親会社株主に帰属する中間純利益	25,838	24,958

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	25,971	25,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,022	19
退職給付に係る調整額	△42	—
為替換算調整勘定	8	△12
その他の包括利益合計	1,988	7
中間包括利益	27,959	25,133
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	27,826	24,966
非支配株主に係る中間包括利益	132	167

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	40,323	39,489
減価償却費	7,089	7,938
減損損失	17	114
のれん償却額	3,292	3,240
賞与引当金の増減額(△は減少)	△658	372
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△15
契約負債の増減額(△は減少)	516	427
ポイント引当金の増減額(△は減少)	10	34
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,523	6
受取利息及び受取配当金	△291	△277
支払利息	29	30
固定資産除却損	226	131
売上債権の増減額(△は増加)	△1,454	3,823
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,769	△2,712
仕入債務の増減額(△は減少)	7,037	1,939
未収入金の増減額(△は増加)	△1,193	△1,123
未払金の増減額(△は減少)	△518	△2,713
長期未払金の増減額(△は減少)	3,563	△1,253
その他	△2,281	3,015
小計	47,407	52,469
利息及び配当金の受取額	226	218
利息の支払額	△28	△30
法人税等の支払額	△22,831	△16,466
法人税等の還付額	5,386	8,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,160	45,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,357	△5,441
無形固定資産の取得による支出	△3,616	△2,742
敷金及び保証金の差入による支出	△1,610	△981
敷金及び保証金の回収による収入	960	419
投資有価証券の取得による支出	△681	△965
その他	△449	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,755	△9,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△44	17
リース債務の返済による支出	△668	△426
自己株式の売却による収入	—	23
自己株式の取得による支出	△1,745	△30,953
配当金の支払額	△6,283	△8,332
非支配株主への配当金の支払額	△66	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,807	△39,751
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	19
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,624	△4,326
現金及び現金同等物の期首残高	95,224	117,720
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 103,849	※ 113,394

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式415,000株の取得を行っております。また、2024年8月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式13,224,500株の取得を行っております。これにより、当中間連結会計期間において、自己株式が30,953百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2024年8月13日開催の取締役会決議に基づき、2024年9月10日付で自己株式13,224,500株の消却を行っております。これにより、当中間連結会計期間において、資本剰余金が27,248百万円、自己株式が27,248百万円減少しております。

(中間連結貸借対照表関係)

当座貸越契約

当社及び連結子会社は、効率的な資金調達のため前連結会計年度は取引金融機関14行と、当中間連結会計期間は取引金融機関13行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく、当中間連結会計期間末における借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
当座貸越契約の総額	55,000百万円	54,500百万円
借入実行残高	—	—
差引額	55,000	54,500

(中間連結損益計算書関係)

※1 退職給付制度改定益

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社の一部の連結子会社は、退職金制度として、確定給付型の制度を設けておりましたが、2023年7月1日付で従来制度を廃止し、確定拠出年金制度へ移行いたしました。この制度変更に伴う損益を退職給付制度改定益として特別利益に計上しております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

※2 災害による損失

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

2023年6月の台風2号の災害損失額について特別損失に計上しております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

2024年9月の能登半島豪雨等の災害損失額について特別損失に計上しております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	103,849百万円	113,394百万円
現金及び現金同等物	103,849	113,394

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	マツモトキヨシ グループ事業	ココカラファイ ングループ事業	管理サポート 事業	合計	調整額 (注)1	中間連結損益計算書 計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	312,358	193,916	1,492	507,766	—	507,766
セグメント間の 内部売上高又は振替高	320	9	331,221	331,551	△331,551	—
計	312,678	193,926	332,714	839,318	△331,551	507,766
セグメント利益	24,720	11,193	29,916	65,830	△28,276	37,554

(注) 1. セグメント利益の調整額△28,276百万円には、セグメント間取引消去△28,276百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額17百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、「マツモトキヨシグループ事業」で13百万円、「ココカラファイニンググループ事業」で4百万円となっております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	マツモトキヨシ グループ事業	ココカラファイン グループ事業	管理サポート 事業	合計	調整額 (注)1	中間連結損益計算書 計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	327,945	195,812	1,972	525,729	—	525,729
セグメント間の 内部売上高又は振替高	140	23	334,415	334,579	△334,579	—
計	328,085	195,836	336,387	860,308	△334,579	525,729
セグメント利益	26,208	11,281	20,221	57,711	△20,049	37,662

(注) 1. セグメント利益の調整額△20,049百万円には、セグメント間取引消去△20,049百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額114百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、「マツモトキヨシグループ事業」で60百万円、「ココカラファイングループ事業」で54百万円となっております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

顧客との契約から生じる収益を分解した情報では、各報告セグメントの売上高を顧客との契約から生じる収益とその他の収益に分解し、さらに顧客との契約から生じる収益を、小売販売に係る売上高とそれ以外の売上高に分解しております。

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	マツモトキヨシグループ事業	ココカラファイングループ事業	管理サポート事業	
小売				
医薬品	95,951	80,580	—	176,532
化粧品	108,175	57,405	—	165,581
日用品	60,875	36,982	—	97,858
食品	29,349	15,296	—	44,645
その他(注)1	16,961	3,306	1,305	21,572
顧客との契約から生じる収益	311,314	193,571	1,305	506,191
その他の収益(注)2	1,044	344	187	1,575
外部顧客への売上高	312,358	193,916	1,492	507,766

(注)1 卸売事業における売上高、広告宣伝に係る売上高等が含まれます。

2 企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入が含まれます。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	マツモトキヨシグループ事業	ココカラファイングループ事業	管理サポート事業	
小売				
医薬品	98,395	80,792	—	179,187
化粧品	117,241	59,913	—	177,155
日用品	61,553	36,158	—	97,712
食品	31,155	15,011	—	46,167
その他(注)1	18,580	3,502	1,818	23,901
顧客との契約から生じる収益	326,926	195,379	1,818	524,124
その他の収益(注)2	1,018	433	153	1,605
外部顧客への売上高	327,945	195,812	1,972	525,729

(注)1 卸売事業における売上高、広告宣伝に係る売上高等が含まれます。

2 企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入が含まれます。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

売上及び仕入の状況

(1) 事業部門別売上状況

当中間連結会計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
マツモトキヨシグループ事業	327,945	105.0%
ココカラファイングループ事業	195,812	101.0%
管理サポート事業	1,972	132.1%
合計	525,729	103.5%

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 商品別売上状況

当中間連結会計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
医薬品	179,187	101.5%
化粧品	177,155	107.0%
日用品	97,712	99.9%
食品	46,167	103.4%
合計	500,223	103.2%

(注) 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入(テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等)は含まれておりません。

(3) 商品別仕入状況

当中間連結会計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
医薬品	104,776	100.1%
化粧品	120,407	105.7%
日用品	72,249	101.0%
食品	41,362	103.0%
合計	338,796	102.6%

(注) 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。